

基本を極めるⅢ

冠婚葬祭編

婚編

結婚式に招待されたら...

返信はがきのマナー

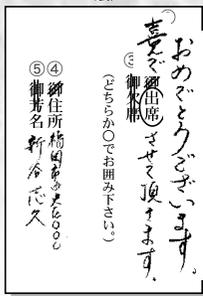
出席の場合

招待状が届いたらなるべく早めに出欠の返事を出しましょう。

返信用はがきの正しい書き方



①文字は斜め線で消し、「様」に

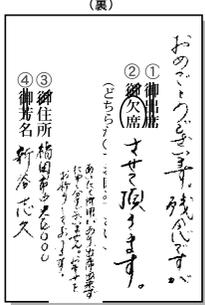


②④は斜め線で
③⑤は縦線で消す

※住所、氏名を書き入れ余白スペースに一言お祝いの言葉を添える。

欠席の場合

お詫びの言葉と一言理由を書き添えます。但し、欠席の理由が身内の病気や不幸などの場合には「ほかに用事がある」「都合により」といったくあいに理由を曖昧にしてさしつかえありません。



表面は出席の場合と同じ
裏①④は縦線、②③を斜め線で消す。

まめ知識

出席の返事を出したあと急に都合が悪くなった場合
すぐに都合が悪くなった場合
すぐに電話でお詫びと欠席の旨を連絡します。式の当日、急に都合が悪くなった場合と同様にします。

人気の「基本を極める」保存版特集の第三弾は、「冠婚葬祭」編です。情報集めにいざ調べ始めると本当に深く広い！日本の「古きよき」を再確認しました。今回はそれぞれの「初級編」といった内容ですが、がさてあなたはどうぐら把握していますか？

御祝儀のマナー

金包の表書きの書き方

金包の表書きは毛筆や筆ペンなどを使います。毛筆の場合は、濃い墨ではっきりと書きます。また表書きは「寿」「御結婚祝」「祝御結婚」などと書き、贈る側の名前は水引きの下中央にフルネームで書きます。

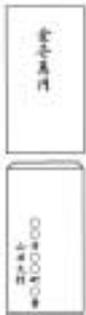


連名の場合

三名未満で贈る場合の表書きは、右側から年齢や地位の高い順に名前を書きます。それ以上は半紙に書き、中袋に入れます。



大抵中袋は入っているので包んだお祝い金の金額は中央にきちんと書き記す。



金額文字は漢数字ではなく、改ざんを防ぐ大字で。

一	→	壹
二	→	貳
三	→	参
五	→	伍
十	→	拾
万	→	萬
円	→	圓

※ボールペン、サインペン、万年筆など細い文字は避ける。薄い墨と同様、市用とされている為。

グループ・会の場合

「〇〇志」「〇〇一同」と書き、中袋の裏に左寄せで名前を記入します。尚、5名以上は半紙等に全員の氏名を連記して中包みへ同封します。



グループ名称がない場合

中央に代表者名を書き、左横にやや小さなめの文字で「外同一」と書き添えます。



会員制の祝賀会の場合

会員制の祝賀会には、ほとんどの場合出席者全員が現金を出し、かつ新郎新婦を招待し二人の結婚を祝福する方たちになる為、会費以外にお祝いを用意する必要はないかと思われ、会費は金額に見合った祝儀袋に包んだ方がよいでしょう。

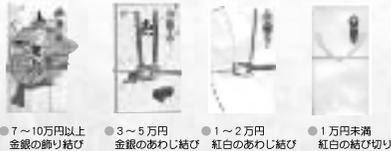
まめ知識

上包みの折り方



ふくさの折り方

御祝袋と包む金額
基本的には、相手との関係や自分の経済力に見合った金額で決めればよいでしょう。詳しくは左記下ホームページを参考にして下さい。



● 7~10万円以上 金額の飾り結び
● 3~5万円 金額のあわじ結び
● 1~2万円 紅白のあわじ結び
● 1万円未満 紅白の結び切り

● 祝儀・香典の金額目安ホームページ
<http://www.kankon.com/>

新婦より一段格をさげる事と目立ちすぎないという事に注意します。



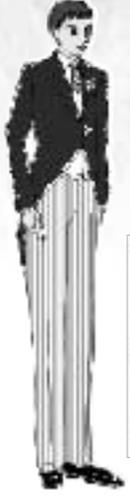
セミイブニングドレス
昼間はアフタヌーンドレス、夜はセミイブニングドレスかカクテルドレスとする。正式には洋服の時は昼夜で小物も変える。日中にキラキラアークセラーはつけないものとされているので、ネックレス、イヤリングはパール、バッグはビーズ・布・皮革かスウェードのもので、靴は表革かスウェードのパンパス。



インフォーマルドレス
洋服であれば昼はインフォーマルドレス、夜はカクテルドレスがマナーになっている。振袖を着る場合、大振袖を避けるのがマナー。



黒留袖
親族の結婚式であれば黒留袖か色留袖に、布かエナメル製の白か金銀の草履とバッグを合わせる。和服の礼装には必ず扇子を持ち、足袋は白。草履とバッグは、佐賀錦などの布かエナメルのものを。



ディレクターズスーツ
洋服の場合は、昼はディレクターズスーツ、夜はタキシードが準礼装となり、上着は黒か濃紺。シングルでもダブルでもよい。モーニングの縞のズボンとベストは上着と共布カラーを着用する。シルバークレーか斜め縞のネクタイを合わせる。



五つ紋付き着物・羽織・袴
和服は黒羽織二重の五つ紋付き、または、三つ紋付きの着用に羽織、袴。



披露宴開始まで

- 開宴の15分前には必ず着くようにしなす。
- 式場、宴会場には大きな荷物を持ち込まないようにし、手に持つ小さなバッグ以外は預けてください。バッグは専用のハンガーを使うか、椅子の背と背中の間に置きます。
- 受付では祝いの言葉を述べて挨拶をします。御祝儀は、挨拶に続いて「ふくさから出し、受付の人に両手で差し出すか、用意してある盆に入れます。ふくさをたたんでから、芳名帳へ記載します。
- 控え室がある場合は、そこで会場が開くまで待ちます。新郎新婦の両親に、お祝いと招待へのお礼を言います。控え室や会場内の席に着いた時、隣りの人が初対面の場合、自己紹介をし、新郎新婦との関係を述べます。
- 会場の入り口で新郎新婦の出迎えを受けるときは、手短かにお祝いを言います。

*ふくさのたたみ方はp.6

● 男性の礼装

	日 中	夜	着用してよい人
正礼装	モーニングコート 五つ紋付き・羽織・袴 (はかま)	イブニングコート	新郎、媒酌人 父親
準礼装	ディレクターズスーツ	タキシード	新郎、父親・兄弟 招待客
略礼装	ブラックスーツ・ダークスーツ	一つ紋付き・羽織・袴	新郎、父親・兄弟 招待客

● 女性の礼装

	日 中	夜	着用してよい人
正礼装	アフタヌーンドレス	イブニングドレス	媒酌人婦人 ^{※1} 、姉妹、母親 ^{※2} 新婦
準礼装	セミアフタヌーンドレス	セミイブニングドレス	母親、姉妹 招待客
略礼装	インフォーマルドレス	カクテルドレス	招待客 姉妹

*1 黒留袖を着る。色留袖や訪問着は着ない。
*2 母親は和服の場合は黒留袖、洋装ならアフタヌーンドレスなど。

● 乾杯の仕方

- ① 主賓の祝辞があり、乾杯の後食事をとるのが一般的。ナプキンをひぎに広げるのも乾杯の後、それまではテーブルの上のものに触れないようにします。
- ② ウエイターがグラスにシャンパンなどを注いで回るときは、グラスは持ちません。
- ③ 乾杯は口をつけるだけでよいので、アルコールが苦手でも、断らないことです。乾杯の仕方は、右手でグラスを持ち、乾杯のほうを 向いて目の高さまで上げます。着物の場合は、左手で右の袖口を軽くつまんでおけば、腕が出てしまわずにすみます。

● 食事中のスピーチや余興は？

披露宴の進行にもよりますが、食事と並行してスピーチや余興が行われることがあります。特に手を休める必要はありません。余興などが終わったところで手を休め、拍手をします。私語は慎み、同席の人がスピーチをする時は、食事も手も止めます。スピーチの始めと終わりには食事の手を止めて拍手をしましょう。

● 席を離れる時は？

- ① 頻繁に席を立つのはタブーです。席を離れなければならない時は、式の流れを見てその合間にしましょう。
- ② ナプキンは軽くたたんで椅子の背にかけるか、上に置きます。テーブルに置くと少し垂らします。
- ③ 席を離れて話をして行くのはタブーです。
- ④ 着席のディナー形式でお酌をして回るのもマナー違反です。しかし、和食の席ではお酌をするのはかまいません。

● 退席の時は？

- ① メニュー、席札、席次表は引き出物と一緒に持ち帰ります。
- ② ナプキンはきちんとたたみます。テーブルに置いて退出します。きれいにたたむと使わなかった(おいしくなかった)という意味になり、マナー違反です。
- ③ 会場の出口では新郎新婦とご両親、媒酌人が並んで見送りをしているので、必ず招待のお礼を述べます。新郎新婦には、「おめでとうございます」「お幸せに」と祝福の一言を忘れずに。

● まめ知識

スピーチの基本

一般的には、三分以内でまとめるのがベスト。分量の目安は、四〇〇字詰め原稿用紙に二〜三枚で約三分となります。

- 注意すべき事とタブー
- ① 政治や宗教に関する話
- ② 新郎新婦の過去の暴露
- ③ 自分の事を延々と話す
- ④ 暗い話や不幸を連想させるテーマ
- 緊張しないコツ
- 自信がない場合は原稿を用意し、あがりまですべて断って読み上げてもよいでしょう。

【スピーチの組立てを守る】

- ① その場にふさわしい挨拶。
- ② 自己紹介。
- ③ 主役と自分の関係を簡単に説明。主題。
- ④ 思い出話やエピソードの内容は一つに決める。
- ⑤ アドバイス期待などの言葉はゆっくりと心を込めて話す。

葬編

葬儀に参列する

《臨終から法要への流れ》

- ①臨終 死の瞬間の事
- ②通夜 葬儀前夜に親族や知人が集まり、死者を慰め、別れを惜しむ習わし
- ③葬儀 僧侶が導師として主宰し、遺族や参列者が故人の冥福を祈る儀式
- ④告別式 一般参加者が故人との別れを惜しむ儀式。葬儀に引き続いて行われる事が多い
- ⑤火葬 精進落し
- ⑥精進落し 心身を清め、行いを慎む期間の終わり
- ⑦法要

※今回は訃報を受けた側の場合としての①④⑤の基本を主に紹介します。



訃報を聞いて弔問

- ①近親者や故人と親しかった人は、訃報を受けたら、なをにおいてもまず故人宅に駆けつけます。自分の立場をわきまえず行動するは避けましょう。
- ②通夜前に連絡を受けて駆けつけるので、すから、平服のままでかまいません。喪服ですと、不幸を予測していたとも受け取られ、失礼にあたることもあります。
- ③平服といっても、できるだけ落ち着いた服装を心がけるようにします。

故人との対面

弔問に伺った際に、遺族から招き入れられることがあります。このような時は、遠慮せずに入ります。自分からは言ひ出さないのが礼儀とされています。

①故人の枕元(正座席)へ、故人に深く一礼し、合掌して一礼する。
②故人に向って「遺族にいたわりの言葉」を伝える。



③遺族が白布をとって、遺族にあいさつし、一礼したら両手をひき上げてから下がる。
④遺族にたいして「お悔やみの言葉」を伝える。

弔問時の注意点

- ①あまり長居をしない。
- ②香典や供物は持参しない。
- ③故人宅へ着き、玄関先で応対に出た人にお悔やみの言葉を述べた後、失礼する。
- ④訃報を受けた後、折り返し故人宅への電話や、死因を聞くのはマナー違反。

表書き

香典の用意

御霊前：四十九日まで使われる。
全宗派に使える。
御香典：香の変わりという意味。
御仏前：主に浄土真宗の葬儀で使われる。
他の宗派では四十九日以降の法要に使う水引きは黒白双方銀の結びきり

金額

香典を通夜、告別式のどちらかに持参します。九州では告別式が一般的のようです。香典は不祝儀袋のままでなく、必ずふくさに包んで持参しましょう。
金額は相手との関係や自分の経済力に見合った金額でかまいません。多すぎると遺族に余計な気を遣わせる事になります。また不祝儀袋は、包む金額との釣り合いを取り、表書きは薄い墨で書きましょう。

不祝儀袋と包む金額

- ①1~2万円 香籠紙に黒白の水引。
- ②1万円未満 香籠紙に水引が印刷された略式のもの。
- ③3~5万円 高級和紙に双銀の水引。
- ④10万円以上 高級和紙にひだ折のある大判。

※詳しくはP4のホームページを参照して下さい。

まめ知識

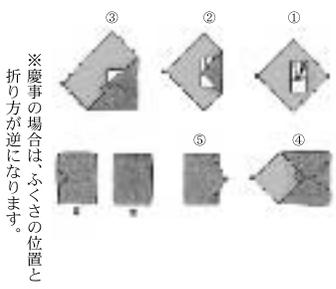
供花・供物について

一般の参列者は香典として現金を包みますが、近親者や親しい関係、または会社や団体関係などからは、供花や供物を贈る事が多いようです。

中包みの表書きの書き方

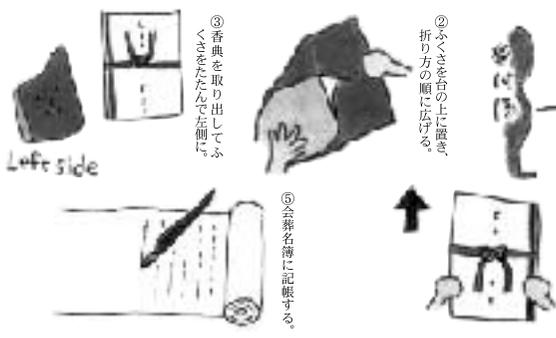
中包み・上包みの折り方

ふくさの包み方



差し出し方

①受付係にお悔やみの言葉を伝える。
②ふくさの口を上向きに置き、折り方の順に広げる。
③香典を取り出してふくさをたんで左側に。
④香典の向きを先方に変え、御霊前にお供え下さい。差し出す。



通夜

通夜は遺族や近親者、親しい友人が遺体につき添い、故人をしのぶもの。本来通夜への参列者は、故人や喪家と親しい関係に限られます。

※遺族の事情により、通夜をごく内輪だけで行う事もあります。その場合参列は遠慮しますが、通夜の日時が伝えられた時は、一般参列者が参列してもよいという意味ですので、参列します。

服装のマナー

通夜では参列者は本来、喪服は着ないものとされています。
男性：
地味なダークスーツに白シャツ。靴下、靴、ネクタイは黒。勤務先からかけつける場合は、ネクタイを黒に替えればよいでしょう。

女性：

地味なスーツやワンピース。色は地味でもデザインが派手だったり、光沢のある布地は避けましょう。やむを得ず、黒い服を着る場合はストッキングを肌色にするとういでしょう。アクセサリー類は結婚指輪以外のは外します。石付きの指輪で、外せないのならば石を手の内側へ回して隠します。また、お化粧も薄化粧にします。和装は地味な色無地か小紋に黒帯を締めましょう。

注意点

通夜だけ参列する場合は、通夜に香典を持参します。葬儀・告別式にも参列できるなら、香典はいずれかに持参します。

参列の仕方

- ①受付で記帳し、香典を差し出します。
- ②案内に従って席につき、式が始まるのを待ちます。
- ③自宅で行われる場合や開始まで時間がある場合は遺族に挨拶し、お悔やみの言葉を述べます。
- ④僧侶の読経が始まったら静かに聞き、終了後は遺族、近親者に続いて順に焼香をします。
- ⑤一般参列者は、喪主の挨拶が終わったら退出するのが普通です。

通夜ぶるまい

喪主が参列者に酒食をふるまう通夜ぶるまいは、親しい人だけが受けます。ただし、遺族、世話役などから勧められた時はなるべく受けるのがマナーです。長居はしないようにしましょう。

まめ知識

最近の傾向(通夜)

最近では、仕事などの都合で、日中に行われる葬儀(告別式)への参列が難しくなっている場合、通夜に参列する人が多くなっています。

葬儀・告別式

仏式では葬儀には故人と親しい間柄の人が参列し、一般参列者は告別式に出るのが原則ですが、葬儀と告別式の区別があいまいなこともあるので、一般には葬儀開始の時間から参列してかまいません。

服装のマナー

参列者は略式の喪服が基本です。

ポイント

- ①葬儀・告別式の代わりに通夜に出席する人が増えている為、通夜でも略式の喪服を着る人が多くなっています。
- ②一般の参列者は服装のタブーよりも、忌事にふさわしくない身の飾り方に気を配りましょう。メイクは控えめにし、派手な口紅やマニキュアは落してから参列しましょう。結婚指輪以外のアクセサリーや香水も禁物です。ただし、パールや黒曜石は良いとされています。



女性 ▶ 通夜又は葬儀・告別式
地味なスーツやワンピース、またはフォーマルドレスに靴や小物、ストッキングは黒。



女性 ▶ 葬儀・告別式
和装は黒五つ紋付きに黒帯、小物も黒の礼装で。

和装について

略式の喪服は色無地などになり、全体の中では浮いてしまふ為、黒無地五つ紋付きという参列者がほとんどです。

注意点

- ①弔問に幼い子どもは連れて行かないのが原則です。やむを得ず連れて行く場合は行動に注意し、焼香を済ませたら受付に断って早めに退出するようにします。
- ②参列するのに大きな荷物は持たず、ロッカーを利用するか、受付で携帯品係に預けましょう。焼香の時に祭壇に持ち物を置くのはタブーです。

参列の仕方

- ①受付で記帳し、香典があれば差し出します。
- ②読経中でも順番になったら焼香します。
- ③葬儀に参列した時は告別式にも参列するのが礼儀ですが、やむを得ない理由で葬儀だけで退出しなければならぬ場合は、最終から出口に近い場所に座り、焼香を済ませたら静かに退出します。
- ④告別式に参列した場合は出棺を見送るのが礼儀。出棺のときは合掌して頭を垂れます。寒い季節でもコートなどは着ないで見送ります。
- ⑤火葬場に行くのは、普通は近親者と、ごく親しい人に限られますが、同行を頼まれた場合は出来るだけ付き添うようにします。車や休憩所の席などは世話役の指示に従います。



男性 ▶ 通夜又は葬儀・告別式
通夜、葬儀・告別式ともに略式の喪服であるブラックスーツ。シャツは白、ネクタイ、靴下、靴は黒。和装の場合は、黒無地五つ紋付きの着物・羽織・仙台平の袴。

お焼香の仕方

焼香の順序は、故人と関係の深い人達が終えた後、一般参列者が行います。一般参列者は、順番にそれほどこだわる必要はなく、最近では受付を済ませた順に係の誘導で焼香をする事が多いようです。

焼香の仕方は宗派によつて様々ですが、一般参列者は周囲に習えばよく、特に作法の違いを気にしなくてもよいでしょう。順番がきたら、遺族、僧侶に一礼をして、焼香台の前で合掌してから、焼香をします。

線香のあげ方

- ①遺族に両手をついて一礼
- ②蓋前で合掌
- ③右手でロソクの火を線香に移す。



立礼焼香

- ①僧侶と遺族に一礼して
- ②一歩進み、遺影を見つめて一礼した後合掌。
- ③再び合掌、そのまま二、三步後ろに下がる。



回し焼香

- ①香炉が回ってきたら両手で受け、両脇の人に目礼、自分の正面に置いて祭壇に合掌。



座礼焼香

- ①僧侶と遺族に一礼、
- ②蓋前まで進み正座、
- ③遺影を見つめて一礼。



まとめ知識

お香

仏教で香を焚く事は、香りと共に自分の心を仏様に連んでもらう意味があります。主なものは「抹香」と「線香」です。抹香は葬儀・告別式での参り用で、線香は個人での参り用。通夜前の弔問や供え物をする時には、席を辞する時は蓋前へ線香をあげます。線香を香炉の中央にまっすぐ立てるのは「まっすぐ成仏するよ」との願いからです。

葬儀を終えて...

精進落とし

火葬が終わる迄の間は一切の肉類を断ち、肉食となりませんが、精進落しから通常の食事に戻ります。葬儀でお世話になった人達を招いて慰労と感謝を込め、酒肴でもてなします。

清めの塩

帰宅後、家に入る前に玄関先で家族に胸元、背中、足元の3箇所にかけてもらう身を清める「為の塩」をかけてくれる人がいない場合は自分でかけます。

法要

法要での服装は喪服ではなく、地味な服装で

喪服ではなく、地味な服装で参列します。四十九日(じゅうくにち)や一周忌などには正式の喪服ではなく、黒を基調とした服装で参列します。案内がきたら出来るだけ出席し、故人が親しい友人、知人なら三回忌迄は欠かさず、回を重ねるにつれ、喪の表現を薄くして行くのが式次第なので、三回忌では紺・グレー・茶色などの地味な服装を選ぶと良いでしょう。

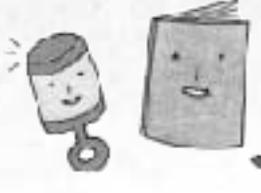
冠編

子供から大人まで人生の門出や節目をお祝いするのが、『冠』です。

出産祝

友人・知人への出産祝いとは？

生後六ヶ月以降に着るベビー服やおもちゃ、絵本などが一般的です。友人や同僚で費用を出し合って贈る方法もあります。尚、表書きを「出産祝」とする場合は、出産後一カ月以内に届くようにするとされています。



● 出産を知らされたら

出産を知らされたらお祝いを述べ、親しい間柄であれば、後で出産祝いを贈ります。病院へ出向くのは、出産後の母親の体調や授乳などの忙しさを考慮し、身内以外は基本的に遠慮したほうがよいでしょう。

まとめ知識

出産を知らせるタイミングは？

家族や身内、仲人、親しい友人には、電話でかまわないのでなるべく早く知らせましょう。それ以外の人は、妊婦検診や中見舞いなどに、「赤ちゃんが生まれました」家族が増えました」といふ言葉を添えて知らせるとスマート。お祝いの気持ちをかきとさるための配慮です。



栄転・昇進・定年退職

● 栄転・昇進

社内で祝いの会を開く場合は、職場ごとの慣例に従った方がよいでしょう。

● 祝いの品を贈るなら

職場単位で取りまとめて、品物や花などを贈るのが一般的でしょう。餞別は祝儀袋に赤白の蝶結びを使います。



● 祝いの品へのお返しは？

昇進・栄転祝いを受け取った時のお返しは特に必要ないとされています。

● 定年退職

退職の餞別は趣味のものを贈るのが良いとされていますが、再就職する人も多い時代なので、励ましの意味を込めたビジネス関連のものや喜ばれる事もあります。先方の役に立つものを贈りたいものです。



快気祝

病気やケガなどで療養した時は、周囲の人に心配や迷惑をかけたお見舞いを頂くなど、何かとお世話になります。そうした事へのお礼と、全快した事を知らせる為に行うのが快気祝いです。

● 快気祝のお返しは？

食べてしまえば後に残らないので、「病気が残らない」という意味を込めて、菓子や砂糖、嗜好品を贈る事が多いようです。石鹸やタオルなどの実用品も一般的。ただし、シーツやお茶のような不祝儀のお返しによく用いられる物は、気にする人もいるので避けた方が良いでしょう。お返しは、見舞いの品の半額から三分の一が金額の目安で、贈る時期は退院時か、仕事に復帰した時が良いでしょう。



(イラスト/kotaro)

賀寿の由来と名称

名称	年齢	由来
かんねん 還暦	61歳	かぞえ年になると、 <small>じっかんじゅうにし</small> 十干十二支が60年で一巡りして、生まれ年と同じ干支に還ることからつけられたものです。再び赤ん坊に還るという意味で、赤いちゃんちゃんこや頭巾、座布団を贈るのがならわしです。
こき 古希	70歳	<small>たらうだい ししじんとは</small> 唐代の詩人杜甫の一節「 <small>じんせいしちじゅうこらうまれなり</small> 人生七十古来稀也」に由来。
きじゅ 喜寿	77歳	喜の草書体が、「七十七」と読める事からつけられた名称。「喜の字の祝い」とも言ます。
さんじゅ 傘寿	80歳	傘の略字が「八十」と読める事からつけられた名称。
べいじゅ 米寿	88歳	「米」の字を分解すると「八・十・八」になる事から。別称「米の祝い」。
そつじゅ 卒寿	90歳	卒の略字が「九十」と読める事から。
はくじゅ 白寿	99歳	「百」から「一」を引くと「白」の字になる事から。
じゅうじゅ 上寿	100歳	<small>きじゅ</small> 紀寿、 <small>たいせい</small> 大斎ともいい、上寿は莊子の書からとられた言葉です。
ちやじゅ 茶寿	108歳	茶という字が「十」二つと「八十八」で出来ている事から。
こうじゅ 皇寿	111歳	皇という字が「白」と「王」で出来ていて、白が99、王が12なので合わせて111になる事から付けられました。

※年齢はかぞえ年です。最近の傾向では満年齢で祝いますが、本来還暦はかぞえ年で祝うものです。

冠婚葬祭

困った時の…

Q&A



婚礼編

Q1 遠方での結婚式に出席します。先方から新幹線の手ケットを頂きました。お祝い金は旅費も含めた金額を包むの？

回 ● 答



結婚祝金だけでよいでしょう。遠方の方を御招待する時は旅費、場合によっては宿泊費も招待者側が持つのが礼儀だからです。

Q2 チャペルウェディングなのに留袖でいいの？

回 ● 答

最近ではドレスやスーツ系が増えているようですが、まだまだ黒留袖や留袖で出席する方もいらっしやいます。和洋どちらでも構わないでしょう。



葬祭編

Q3 病院で亡くなった場合、自家用車で家に連れて帰ってもいいのでしょうか？

回 ● 答

ご遺体の移送は、運輸省の認可を得た指定業者の専門寝台車でなければ行い事ができません。できるだけ早く葬儀社を決めて連絡し、ご遺体を自宅に移送します。葬儀社は病院でも紹介してくれますし、前もって互助会に加入しておく安心です。

Q4 通夜と告別式には両方出席するべきでしょうか？

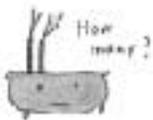
回 ● 答

故人と自分の関係を考えて決めます。本来、通夜とは遺族や近親者、故人と深い関わりがあった人が集まって別れを惜しむものですが、それほど親しくない間柄であれば告別式のみ出席する方が良いでしょう。また、告別式にはどうしても都合がつかず出席出来ない為、通夜にだけ出席するという場合もあります。この場合には通夜の席上でその旨を告げ、簡単にお詫びを述べます。

Q5 お線香は何本立てるのがいいの？

回 ● 答

1本だけ立てるのが一般的です。2〜3本につけた場合でも1本ずつ立てます。また、宗派によっては線香を立てずに、2〜3本に折って寝かせて焚く場合もあります。



Q6 四十九日にはどんな意味があるの？

回 ● 答

仏教の世界では、死後49日間は中有(この世とあの世の中間の世界)を漂い、49日目の審判で死者の運命が決まるとして、この四十九日を重要視しています。この日を境に忌明けとなる、とされています。近親者、知人、友人を招き僧侶にお経をあげて頂いて供養し、その後忌明けの宴を開きます。



Q7 お盆にはどんな意味がありますか？

回 ● 答

お盆は正式には盂蘭盆会(うらぼんえ)とい、釈迦の弟子の目連が餓鬼道に落ちた母親を救う為に、釈迦の教えに従い多くの人に飲食を与え、その功德で母親が救われたという故事に由来すると言われています。この故事から、祖先の霊を我が家に迎えて供養を捧げ、また浄土に送り帰すという、お盆行事が行われるようになったようです。

Q8 不幸があったお宅へお中元やお歳暮は贈ってもいいのでしょうか？

回 ● 答

お中元やお歳暮はお祝いではありませんが、贈って差し支えありません。ただその時期が四十九日以内の場合は、少し期日をずらして贈ると良いでしょう。お歳暮などが四十九日以内になってしまう場合は、松の内が過ぎても「寒中見舞」として贈るようになります。また、水引きは紅白ではなく、白の奉書紙だけをかけて表書きをします。贈る側に不幸があった場合も同様です。

